

令和8年1月8日 庁議議事要旨

	庁議開催日	令和8年1月8日
	開催時間	午前8時30分～午前10時
	参加者	区長、副区長、教育長、各部長、児童相談所長、江戸川保健所長、区議会事務局長、他参与
報告 ①	報告タイトル	令和9年度施策及び予算に関して国・都に要望すべき事項のとりまとめ
	所管部署	経営企画部
	報告内容	特別区特有の行政課題について、特別区長会独自に国及び都に対し要望する事項として、本区から以下を提出する。【国に要望すべき事項】(1) 治水対策の充実・強化、大規模水害時における広域避難体制整備の促進、(2) 都県橋の整備促進、(3) 市街地再開発事業等の整備促進、(4) 地方財政の充実強化、(5) 企業版ふるさと納税制度の見直し【東京都に要望すべき事項】(1) 特別区都市計画交付金制度の改正、(2) 水害対策と大規模水害時における広域避難体制整備の促進、(3) 下水道施設の機能強化・耐水対策、(4) 高台まちづくりの整備促進、(5) 在宅レスパイト・就労等支援事業の拡充
報告 ②	報告タイトル	空想カフェの実施
	所管部署	経営企画部
	報告内容	部署や役職を超えて、職員が「これからの江戸川区」について自由に語り合う場として、月に1度程度「空想カフェ」を実施する。組織横断的な協働を促すとともに、対話により職員の創造性を引き出し、前例にとられない実効性のあるアイデアを生むことが目的である。そこで生まれたアイデアや視点を、全庁的な情報共有や空想系の業務に活かすことで、具体化に向けた検討を行う。第1回目を1月29日に予定している。
報告 ③	報告タイトル	令和8年度当初予算案
	所管部署	経営企画部
	報告内容	令和8年度の当初予算案は、一般会計3,635億円(対前年度比+288億円・8.6%増)であった。また、特別会計とあわせた総額は4,966億円(対前年度比+329億円・7.1%増)であった。
報告 ④	報告タイトル	令和8年度当初予算編成における諸会議日程
	所管部署	経営企画部
	報告内容	1月14日～21日にかけて、令和8年度当初予算に関する施策協議会(区議会への説明)を実施する。報道機関へのプレス発表は、1月30日を予定している。
報告 ⑤	報告タイトル	中央防災会議 首都直下地震対策検討ワーキンググループによる首都直下地震 被害想定の見直し
	所管部署	危機管理部
	報告内容	国が平成27年3月に策定した「首都直下地震緊急対策推進基本計画」から10年が経過することから、これまでの防災対策の進捗や最新の科学的知見等を踏まえ、被害想定の見直しを行った。江戸川区の被害想定は、最大震度6強、予想津波高2mである。
報告 ⑥	報告タイトル	東京都「『首都直下地震の被害想定と対策について』に対する都の見解」
	所管部署	危機管理部
	報告内容	12月19日に国から「首都直下地震の被害想定と対策について」が公表されたが、同日東京都がこれに対する見解を公表した。「今回の被害想定は首都圏の実態を十分に反映しておらず、自治体が真に必要な対策を講じることはできない。都としては、今後、防災対策の効果を十分評価したうえで、実態に即した被害想定をスピード感をもってとりまとめる」との見解である。

令和8年1月8日 庁議議事要旨

	庁議開催日	令和8年1月8日
報告 ⑦	報告タイトル	区内刑法犯認知状況（令和7年11月末）
	所管部署	危機管理部
	報告内容	<p>刑法犯総認知件数の23区順位は、少ない順で10月末累計と同じく20位、犯罪率（人口千人あたりの犯罪認知件数）についても少ない順で前月と同じく11位であった。自転車盗認知件数についても少ない順で前月と同じく22位であったが、増減数は前年同月比165件マイナスで23区中2位であった。罪種別認知件数では万引きと車上狙いが増えている。区内三警察署別の特殊詐欺認知状況については、小松川署と小岩署において被害金額、件数ともに増加している。特に小松川署においては前年の同期間（1月～11月）と比べ、30件増で、被害額は2億3,000万円余の増となっている。</p>
報告 ⑧	報告タイトル	令和7年度定額減税補足給付金（不足額給付）の支給状況
	所管部署	総務部
	報告内容	<p>11月28日まで申請可能としていた、令和7年度定額減税補足給付金（不足額給付）の支給状況を報告する。定額減税補足給付金（不足額給付）は①令和6年分所得税の実績額が確定後、本来給付すべき調整給付額と支給額に差額が生じた者に対する不足分の給付（対象者92,994人）と②定額減税対象外であり、かつ5年度非課税世帯給付金（7万円）、5年度均等割のみ課税世帯給付金（10万円）、6年度非課税世帯等給付金（10万円）の対象世帯の世帯主・世帯員に該当しなかった者への原則4万円の給付（対象者：7,378人）の2種類あり、支給率は①②合わせて97.43%（97,790人）であった。また、新たな支給方法として、全国のセブン銀行ATMで受け取れるサービスを導入した。</p>
報告 ⑨	報告タイトル	年末年始における区内の状況
	所管部署	都市開発部・環境部・文化共育部・健康部
	報告内容	<p>年末年始（12月29日～1月3日）における区内各施設の状況をまとめた。葛西臨海公園・水族園の来園者数・大観覧車の利用者数・駐車場利用台数、環七シャトルバス利用者数は、いずれも前年より増加した。自然動物園、ポニーランドの利用状況も前年を上回った。宿泊施設の利用状況は、前年度並みだった。休日・夜間診療については、インフルエンザが流行した昨年と比べて3割程度の受診者数となった。</p>
報告 ⑩	報告タイトル	江戸川区熱中症・物価高騰対策給付金の支給状況（実施報告）
	所管部署	福祉部
	報告内容	<p>令和7年7月1日時点で75歳以上の高齢者がいる世帯に、高齢者の熱中症リスク軽減を目的に、7月、8月のエアコン等の使用による電気代相当分の一部として5,000円を支給した。初回振込は令和7年7月28日で、対象世帯は69,823世帯で給付率は96.97%（67,709世帯）であった。</p>
報告 ⑪	報告タイトル	12月27日・28日・1月4日の電話相談実施報告
	所管部署	福祉部
	報告内容	<p>12月27日・28日・1月4日の3日間で実施した電話相談では、合計29件の相談があった。閉庁期間に急ぎの対応が求められない各相談内容については、1月5日以降に各担当部署に引継いだ。</p>

令和8年1月8日 庁議議事要旨

	庁議開催日	令和8年1月8日
報告 ⑫	報告タイトル	児童育成支援拠点事業業務委託事業者の選定結果
	所管部署	子ども家庭部
	報告内容	養育環境に課題を抱える、家庭や学校に居場所のない児童に対して居場所となる場を開設し、児童とその家庭が抱える多様な課題に対して、個々の状況に応じた支援を包括的に提供することにより、虐待を防止し、子どもの最善の利益の保障と健全な育成を図ることを目的とする児童育成支援拠点事業の業務委託事業者の選定を行った。公募型企画提案方式による選定の結果、特定非営利活動法人 起点、医療法人社団 しろひげファミリー、労働者協同組合 ワーカーズコープ・センター事業団の3事業者に決定した。2月1日に開設予定である（開設準備期間含む）。
報告 ⑬	報告タイトル	江戸川区小中学校施設改築の基本方針（案）
	所管部署	教育委員会事務局
	報告内容	平成19年9月に策定した「学校施設改築の基本的な考え方（一次報告）」より15年以上経過し、昨今の社会情勢における変化に対応するため、「江戸川区小中学校施設改築の基本方針」を策定する。1月15日に案を公表し、区ホームページや広報えどがわで意見募集（パブリック・コメント）を募集する予定である。
イ ベ ン ト ①	報告タイトル	令和7年度「えどがわ伝統工芸産学公プロジェクト」第23回新作発表会
	所管部署	産業経済部
	報告内容	1月17日と18日、タワーホール船堀にて「えどがわ伝統工芸産学公プロジェクト」の第23回新作発表会が開催される。区内伝統工芸産業の製品開発・販路開拓・PR等の支援を目的とし、伝統工芸者と現役美術大学生と区が連携し平成15年度から続くプロジェクトである。今年度の新作となる8工芸（江戸扇子、江戸風鈴、型小紋等）、計39点の展示を予定している。
イ ベ ン ト ②	報告タイトル	「第12回小松菜まつり2026」の開催
	所管部署	産業経済部
	報告内容	1月24日、アリオ葛西にて「第12回小松菜まつり2026」を開催する。小松菜関連商品及び新鮮野菜の販売（出店数10店舗）やワークショップ、商店街ヒーロー「エドレンジャー」のヒーローショー等を予定している。